

保護者様

ノートルダム女学院中学高等学校  
 学校長 栗本嘉子  
 保健室

### 本校におけるアルコール手指消毒の考え方について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

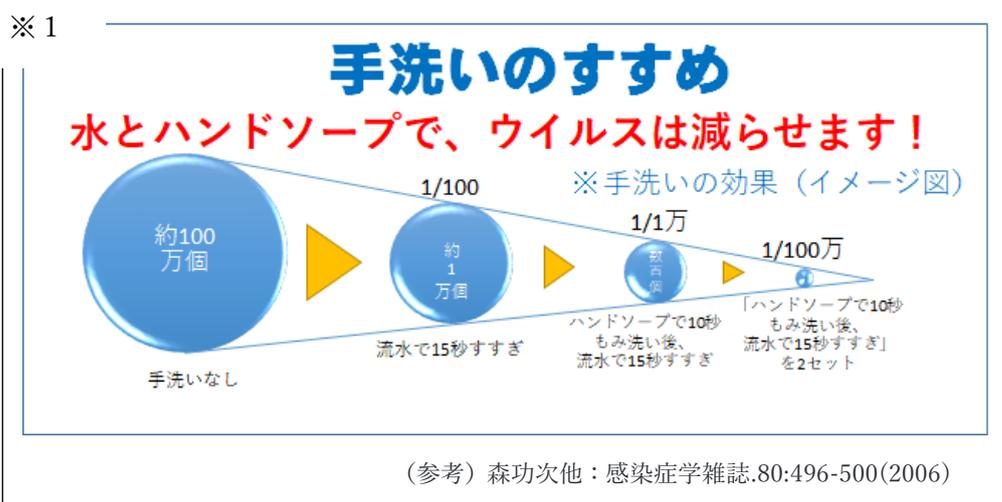
本校では、分散登校が開始され、新型コロナウイルス感染症の感染対策マニュアルに基づき、教職員一丸となり、感染対策を行っております。また、ご家庭でも、本校の感染対策におけるご協力誠にありがとうございます。

さて、本校ではアルコール手指消毒を生徒に対して推奨しておらず、各教室にアルコール手指消毒液の設置はしていません。アルコール手指消毒は、手洗いができない場合において、補助的に用いられるものであり、汚れがあると効果は半減します。また、流水とハンドソープで、ウイルスは減らせるといわれています（※1）

アルコール手指消毒を頻回に行うと、皮膚障害を起こしやすく（※2）、また、アルコールは揮発性物質であり、気化しやすく使用時に吸い込んでいることなどの健康被害があります。

以上のことから、生徒には今後も正しい手洗いの方法を指導していきたいと考えております。

本校では、生徒の健康を守ること、生徒が自分や周りの人たちの健康を守るための、正しい知識が身につくよう指導すること、それが最も大切なことと考えておりますので、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



※2 健康な皮膚は、最表面の角層バリアで守られています。手指衛生を頻回に行い角層の保湿成分が失われ、摩擦などの刺激で角層に細かいキズがつくことで角層バリアの機能が低下し、乾燥やひびわれといった状態がみられるようになります。そこから、手指衛生製品に含まれる化学物質が簡単に皮膚に入ることとなり、化学物質によって刺激性の皮膚炎が引き起こされることがあります（刺激性接触皮膚炎）。また一部のアルコール過敏体質の方では、アレルギー性の接触性皮膚炎が生じます。

（参考）理・美容師の手あれ予防ガイドブック 2009年／独立行政法人 労働者健康福祉機構